

令和6年度第2回 流山市環境審議会 議事要旨

日 時： 令和6年8月1日（木） 14時00分～15時50分

場 所： 流山市役所第1庁舎3階 庁議室

出席委員：10名

新保國弘委員（会長）、朽津和幸委員、佐藤秀樹委員、川村香純委員、大貫貴志委員、井上菊夫委員、和田登志子委員、三堀裕雄委員、今井泰彦委員、石田裕佳委員

事務局：

伊原環境部長、高松環境政策課長、安達環境政策課長補佐、座間主任主事
小松主事

傍聴者：無

議 題：環境基本計画について

令和6年度第2回環境審議会 議事要旨

新保会長	本日の出席委員は10名です。（うち2名はオンラインでの参加です。）流山市附属機関に関する条例により、定足数に達しておりますので、会議が成立していることを御報告申し上げます。 議題は、「環境基本計画について」となっている。 事務局から説明をお願いしたい。
事務局	5月21日の審議会にて次期環境基本計画の素案を説明したが、その際いただいた、御質疑・御意見を踏まえて修正等を行ったので説明する。初めに概要として、修正箇所のまとめについて説明する。 資料1を御覧いただきたい。 まず、環境基本計画素案 修正箇所まとめ（資料1）の共通という項目だが、これは各基本目標の中の記載内容ではない、それ以外の事項について触れている部分である。 1点目は、第1章について、素案の1ページ「（1）計画の目的」に近年の世界的情勢等記載を追記したことと、3ページに、「※持続可能な開発のための2030アジェンダ【持続可能な開発目標（SDG

事務局	s)】」として、SDGsの説明を追記した。また、資料1には書いていないが、流山市地球温暖化対策実行計画の中でも掲げている適応策についても触れた方が良いのではないかと御意見をいただいたので、第1章(1)計画の目的の中に、「本計画は、気候変動に対し、温室効果ガス排出量削減を目指す「緩和策」と、自然生態系や社会経済システムを調整することで悪影響を軽減する「適応策」を積極的に取り組む必要がある状況であることを踏まえつつ、持続的発展の可能な循環型社会への移行と、国が示す自然共生社会、脱炭素社会、循環型社会、安全が確保される社会の形成のための計画であることを説明する」趣旨として追記した。 2点目は、基本目標5の位置付け方について御意見をいただいたので、第2章の「流山市の現状と課題」の、6ページに「(4)市全体の推進体制」の項目を新たに追加し、この課題に対しての解決策として、基本目標5を記載した。 3点目は、10ページ目以降の、第3章の各基本目標の目標指標について、前回審議会時素案では過年度実績のみ記載していたが、いただいた御意見をもとに、今回、令和5年度の目標値および実績値と、令和10年度の将来目標値を追記した「目標指標の進捗」へと変更した。なお、令和10年度の目標数値を出していないものについては、現状、算出できている将来年度の数値を注意書きとともに掲載した。 次に基本目標ごとの改正ポイントを説明する。 基本目標1では、前回審議会時素案に記載していた、指標項目「遊休農地面積有効利用割合」を削除した。これは、流山市総合計画から「遊休農地面積有効割合」の指標を外したことを受け、本計画においてもこちらの指標を削除した。 基本目標2では、以下の3点について変更した。 1点目は、13ページの指標項目の「市役所の温室効果ガス排出量(H20年度比)」を「市役所の温室効果ガス排出量(2013(H25年度比))」へと変更しました。これは、政府が表明した2030年度において、2013年度比で温室効果ガスを46%削減という目標設定に合わせ、市役所自体の排出量もこれに沿った取り組みを目指すものである。今後、地球温暖化対策実行計画事務事業編もこれに準じ、これ以上を目指した内容の改定を図っていく予定である。
-----	---

事務局	2点目は、前回審議会時素案に掲載していた、指標項目「快適に移動できる道路網の整備がされていると感じる市民の割合」について、環境問題との関連性が弱いと考えたことから削除した。 3点目は、単にEV化しただけでなく、地域事情に合わせ、自家用車を手放すこと自体を促すことも取り入れてはどうかという御意見を受けて、13ページの市の取組み「都市と交通の脱炭素化」の項目の中で、「実用性の高い自転車ネットワークを形成します。」と文言を追記した。 資料1の2ページ目を御覧いただきたい。基本目標3では、前回審議会時素案に掲載していた、施策の方向②の「国・県の廃棄物行政や関連自治体との連携」は、他の基本目標にも位置づけられるのではないかと御指摘をいただき、基本目標3から削除した。 2点目は、15ページの市の取組みの「廃棄物の不法投棄、ごみのポイ捨てについて」の項目にて、重点区域の記載だけでなく、歩きたばこの記載についても記載してはどうかという御指摘をいただき、歩きたばこ禁止の文言を追記した。 基本目標4では、以下の3点について修正した。 1点目は、17ページの目標指標の進捗にて、基本目標1の指標項目に記載している「流山市は住み心地が良いまちであると思う市民の割合」を、基本目標4の指標にも記載した。これはこの項目が、基本目標1と基本目標4、どちらにも当てはまる目標指標であると考えたためである。 2点目は、前回審議会時素案に記載していた、指標項目「生活環境に関する苦情等の処理率」を削除し、まちづくり達成度アンケートに記載がある「身近な生活環境について不満に感じている市民の割合」に変更した。 3点目は、市の事業紹介にて、「福島第一原発事故に伴う放射能への対応について」を追加し、これまでの経緯等を記載しました。前回審議会時の素案では、放射能対策について、現在モニタリング調査を行っていないことから削除していたが、これまでの経緯などを記載した方が良いのではないかと御意見を受け修正した。 基本目標5では、18ページの施策の方向④にて「国・県、他市町村や、関連自治体との連携」を追加した。また、前回審議会時の素案に掲載
-----	---

事務局	載していた、指標項目の「ＩＳＯまたはエコアクション２１を認証登録している事業所」については、現在、所管部局にて数値としての把握を行っていないことを受け、今回削除したとともに、今回指標を３つ追加した。 修正の概要については以上である。次に改めて素案について説明させていただく。別紙素案を御覧いただきたい。 今回、表紙案として別紙のとおり写真を掲載した。 前回審議会にて御意見ありました、西暦、和暦で統一されていないという意見については、計画年度の箇所について令和○年（西暦○年）という記載で修正し、４ページ 第１章 ２．計画の期間と対象 の（１）計画の期間、２６ページ 第４章 １「生物多様性ながれやま戦略」の推進の（１）概要、２９ページ、３１ページ「流山市地球温暖化対策実行計画」①概要、３２ページ「流山市一般廃棄物処理基本計画」の（１）概要の、計画年度にて追記している。 また前回、第２章と第３章の間のページにて、市内の地形と自然環境を示した図として、緑被現況図を掲載していたが、前後とのページの関りが薄いと考え削除した。 次に、７ページ第３章のみどりの写真等、市内の写真も追加した。基本目標３等に乗せているアイコンの解像度が悪いという意見がありましたので修正した。 基本目標１について、修正箇所を説明させていただく。 １１ページの市の事業紹介にて「公園・緑地・市街地・グリーンチェーン認定宅地によるＣＯ２吸収源倍増」の「倍増」の表記を「増加」に変更した。 基本目標１の指標について、「生物多様性に係る指標があった方が良いのではないか」という御意見があったが、そちらについては適切な指標がないため今回掲載しなかった。 次に１２ページの基本目標２について、市の取り組み欄の「省エネルギー化への取り組み」の項目名については、省エネのみの取り組みのように聞こえてしまうことから、「省エネルギー化等への取り組み」に修正した。 次に１４ページの基本目標３の施策の方向について、「国・県の廃棄物行政や関連自治体との連携」を削除した。
-----	--

事務局	次に、１６ページの基本目標４の目標指数の進捗について、注意書きの記載にある通り、※１については、将来目標値を定めていないため、目標の方向性を矢印にて示した。※２はＲ１０年度までの目標値を定めていないのでＲ８年度の目標数値を出した。 次に１９ページの基本目標５の目標指数の進捗の項目については「ＩＳＯまたはエコアクション２１を認証登録している事業所」を削除し、指標項目３つを追加した。ここの指標項目については、将来目標値を特に定めておらず、目標の方向性として矢印を記載した。 次に２３ページの第４章について、生物多様性ながれやま戦略、流山市地球温暖化対策実行計画、流山市一般廃棄物処理基本計画の最新の計画の写真に修正した。 なお、最終ページに各基本目標の指標の算出式等を記載している。 私からの説明は以上になる。皆様からの多くの御意見をいただき修正させていただき、御協力感謝申し上げます。 では、皆様からの忌憚のない御意見等をいただきたい。
新保会長	事務局からの説明に対し、質問等あるか。
事務局	資料２についての説明が不足していたので、事務連絡させていただく。今、事務局から概要について説明したが、資料２に皆様からいただいた意見を集約しており、ここに事務局としてどう考え、どう対応したかを掲載している。こちらも御確認いただきたい。
今井委員	表紙の写真について、１つがオオタカで、１つが葉っぱの写真だが、１つが市の鳥だから、もう１つは市の花にするなど意味のあるものを掲載したら良いのではないか。 １３ページの「都市と交通の脱炭素化」で「実用性の高い自転車ネットワーク」について記載があるが、もう少しわかりやすい表現の方が良いのではないか。１５ページの廃棄物の表について、目標指数の進捗の「最終処分量」について、廃棄物の表について、最終処分についてのＨ２７年度が９，４７４ｔと、Ｒ２年度の１，５４８ｔと大きく差異があるが間違いではないか。１７ページの目標指数の進捗について「身近な生活環境に関しての不満に感じている市民の割合」が、９７．５％とあるが高いのか低いのかの内容が分からない。また説明が３５ページにあるが、「あなたは地球温暖化のためにどのようなことに取り組んでいるか」とあるが、これは本当にそこにつながるのか説明いただきたい。

事務局	表紙の写真については、意味のあるものに変えたいと思う。 「実用性の高い自転車ネットワーク」については、もう少しわかりやすい表現に変えて市民が見てもわかるような言葉に変えたいと思う。 「身近な生活環境に関しての不満に感じている市民の割合」は35ページの記載が誤っている。「悪臭・騒音・振動・不法投棄について不満がある方」の記載である。 15ページの最終処分量については、放射能の影響がある。流山市では草や剪定枝を焼却すると放射能が凝縮されてベクレルが上がるという現象があった。そのため剪定枝や草は埋め立て処分を行ってきた。平成30年度まで埋め立てしてきたが、その後放射能が減ってきたため、令和元年度から焼却ができるようになった。そのため数字は間違っていない。
和田委員	今の件について注意書きが必要かと思うので御検討いただきたい。
事務局	注意書きを入れたいと思う。
和田委員	ページ数の表記が大きくなり見やすくなったのは良い。 ただ、位置について全ページ右下に統一されているが、偶数ページは左下になるよう工夫してほしい。項目の色のところは、白黒にしたときに文字が読める明度にするなど、カラー印刷しなかった場合に読める配慮をしてほしい。
事務局	ページ数の記載については申し訳ない。白黒印刷にしたときの明度についても見やすいものにしたいと思う。
井上委員	表紙の写真について、何か理由があってこの写真を掲載しているなら、変える必要はないのではないかな。 「グリーン戦略に力を入れるために掲載した」など、こういった意図で写真を選び、掲載しているかについて、表紙のオオタカの写真を含め、哲学がしっかりしていることが重要であると考えている。 事務局も、委員からの意見に基づき、「それでは写真を変更します」というのではなく、哲学を明確にした方が良いと考える。 市の花の写真についても載せた理由、哲学があれば教えてほしい。
事務局	表紙の写真について、オオタカは市の鳥に制定されていることも含め保護したいという思いもあり、また第2次環境基本計画においても大きな目標の中でオオタカの保護について記載されており、市でも残していきたいことから選んでいる。葉っぱは緑化推進や自然保護を目指しているという意味で載せたが写真そのものは、市が保有している写真画像の中で掲載可能なものから選んだだけである。今後、市が特に取り組んでいる写真や、市の花の写真に変えたりするなど、自然も生物もどちらも残していきたいという趣旨に合致するような写真に変更することを検討しますと、先ほど申し上げた。

井上委員	緑の葉っぱでも良いなら、写真選定についての哲学がやはりあった方が良くと思う。例えば、オオタカとツツジを長きにわたってシンボルとして残しましょう、ということにした方が良くのではないかな。 変えろと言われたら、何も考えずに変えるのではなく、「こういった理由や経緯があるからこの写真を選んだ」などのしっかりとした理由付けがあれば理解する。
和田委員	葉っぱの写真は、市の花に変更するという意見には賛成する。 各ページの何気なく使っている絵や写真について、意味を持たせても良いのではと思う。 ４ページのイラストもなぜこれを選んでいるのか。大事な計画の推進と進捗管理なので、ここには毎年環境白書に掲載すること前提とした図を示すなり、５年ごとのチェックのことを示すような図案があっても良いのではないかな。 また、小さな写真で活動の写真が掲載しているが、何年のどういう活動の写真であるという注釈があった方が良くのではないかな。 ７ページの新しくした写真も、どこのどういう意味をもつ写真なのかを入れたら良いのではと思う。 １１ページもグリーンチェーン認定の写真かと思うので何年にグリーンチェーン認定を受けた写真であるのか、１３ページの写真も子供たちが活動している写真や１５ページの写真、また１９ページの写真も流鉄流山線の何かの活動の写真なのかと思われるが注釈を入れた方が良く。たくさんスペースが空いているような２４ページ、２５ページの下、２７ページの下などの空いたところは事務局で今後何かを考えているかもしれないが、流山市を象徴するような、何か意味のある写真をいれたら良いのではないかな。
朽津委員	市の鳥と市の花の話題が出たが、オオタカが市の鳥に制定されたこと市の花がツツジであることは、きちんと市のホームページにも制定された理由や経緯の記載があるので、その内容を含め記載されてはどうか。また、市の木がツゲであることの制定理由については記載が無いが、経緯等確認し、環境を守ることとなにか関連付けられるのかをお考えいただいても良いのではないかな。
三堀委員	写真の件だが、１７ページの写真だが白黒だとわかりにくいので、変更を検討された方が良くのではないかな。

事務局	ツゲとツツジをどうして市の花や木にしたかは、この場ではわかりかねるが、そこが環境保全とうまく結びつけられれば写真を使っても良いかと思うので検討させていただきたい。写真に関しては余白も含めて検討させていただきたい。市の活動のPRにもなるかと思うので、どこの写真かなどの表記は入れた方が良いと思う。 選ぶ写真については、市が保有しているかも含め検討させていただきたい。ただ、時間的にも限りがあることは御了承いただければと思う。
和田委員	４ページの下の木と川の図は、PDCAを示すような図に変えていただけるということでしょうか。計画を遂行していく上で、ちゃんと流れがわかるようなものを載せた方が良いのではないかと。これを見ながらチェックできるような図があれば良いと思う。
事務局	これだけだとわかりにくいので、いわゆるPDCAサイクルの図だとかそのようなものを入れたいと考える。
朽津委員	４ページの３．計画の推進と進捗管理にて、環境マネジメントシステムで行うと書かれているが、具体的にはどういったことを指しているのか。施策の管理、進捗管理とあるが、どのように行うかは極めて重要な問題なので、そこをもっとわかりやすく書いていただきたい。
事務局	環境マネジメントシステムについて、表などで示すということでしょうか。
朽津委員	そもそも環境マネジメントシステムが特別なシステムを指しているか、一般的なもののなか。具体的には市役所の環境部のセクションの人が施策の推進や進捗管理をすると思うが、それがどの主体によってどのように行われるのかということを説明しないといけないと思うが、環境マネジメントシステムが何を表すのかがこの書き方だとわかりにくいのではないかと。
事務局	このシステムそのものは全庁的に行っているものだが、環境政策課の職員が市役所の各公共施設に環境の取り組みをどういったものを行っているかの調査を実施している。その結果等を外部委員に評価していただいて環境白書やHP、庁内に共有し、市の環境状況を示している。確かに、ここに記載している環境マネジメントシステムという言葉がこれだけ計画の中で書かれていてもわかりにくいので、この表記の仕方は工夫させてもらえればと思う。
朽津委員	外部委員に評価してもらうというのは、環境審議会とはまた別で、どのように評価されているのかはHPで公表しているのか。

事務局	外部委員の方は、個人2名を選ばせていただいているが、環境に知見のある方をお願いしている。それを環境活動レポートにまとめた上で、HPに載せている。 環境活動レポートには、組織の概要、対象範囲、環境方針、環境目標、環境活動計画、環境目標の実績、環境活動計画の取組結果と次年度の取組内容、環境関連法規等の順守状況の確認及び評価結果ならびに違反訴訟等の有無、代表者による全体評価と見直しの結果、9つの項目を掲載している。
朽津委員	HPを確認したところ、環境活動レポートを含め、環境マネジメントシステムが流山市でどのようにして作成されているのかが詳細に記載されていることがわかった。今回作成した環境基本計画が、どのように管理され、評価されていることは極めて重要なことなので、何らかの形で概要等を記載することや、進捗管理についてはこのように公表されている等の情報を積極的に公開する取り組みを検討してみてもどうか。
事務局	先ほど申し上げたが、ここの部分はわかりやすいように表記する。HPに掲載されていることを要約して、表記していきたいと思う。
今井委員	環境マネジメントシステムは、ISO14000か、エコアクションなど公に認められた制度があって、そのことを指すかと思うが、流山市はエコアクションを改良したのを独自に行っているものかと思うので、誤解を招かないためにも、環境マネジメントシステムという言葉は使用しない方が良いのではないかな。
事務局	例えば、流山市独自のシステムなど、そのような形でISO14000とは異なることを明記したいと考える。
和田委員	流山市のHPに番号を入れると該当ページに飛んでいたが、あの番号はずっと使用できる番号なのか、それとも毎年変更されるものなのか。変更されないならHPの番号を入れるとわかりやすいのではないかなと思うがどうか。
事務局	HPそのものは委託しているので、今使っているページの番号は現在委託している業者に引き続き委託していくのであれば、そのまま使えると思うが、環境基本計画が10年間の計画なので業者が変わり使えなくなる可能性がある。
新保委員	QRコードは国も県も使っている。そういうのもあればスマホで見ることができて便利ではないかな。
事務局	HPの契約担当課がどうしているかは不明だが、URLが変更になった際に不具合が生じたという話を聞いたことがある。

新保委員	環境基本計画を作っていく上でわからないことが出ると思うが、どこかに１ページ使って、検索の仕方を紹介する内容があっても良いのではないか。必要な情報へ、いかに辿り着けるかも重要である。 データもオリジナルがどこにあるか検索できるような何かがあれば良いのではないか。
事務局	検討させていただく。
新保委員	表紙の写真、動物かオオタカでも良いと思うが、植物の環境政策課でメインといえば緑のカーテン、ゴーヤではないか。市民の方もとても力を入れていることから、環境政策課の施策で行っているものを選んだ方が良いのではないか。
事務局	ゴーヤは毎年コンテストを開催するなど、環境政策課として力を入れている。また、昨年度までは千葉県トラック協会の方にも協力いただいて市内の公園などに植樹も行っているほか、市内の公共施設などでグリーンウエーブなど植樹も行っている。そのようなところを探せられればと思う。
新保委員	７ページの写真は総合運動公園の写真ということで良いか。
事務局	そのとおりである。
新保委員	総合運動公園は、みどりの課が所管の事業なので環境政策課で何か取り組んでいるものの方が良いのではないか。 何か環境政策課で直接行っているような事業と自然と都市の調和を目指したような写真が良いかと思う。他の写真もそうだが、環境部でやっている写真の方が良いのではないか。無ければ、それはそれで構わないが可能な範囲でそのような配慮があっても良いのではないか。
井上委員	先ほども申し上げたが、写真の選定には哲学があった方が良い。 あえて環境政策課をPRしなくても、「自然と都市が調和し、心安らぐ 住み続けたいまち 流山」を示すことが目的なのであれば、これはこれで良いのではないか。
和田委員	２２ページの活動の写真だが、下に男の子と女の子が書かれているイラストがあるが、「ここにぜひ行ってほしい」ということが目的なのであれば、地図を入れて意図を明確にするなどが必要ではないか。 これを見たときに余ったスペースを埋めたようにも見えてしまうので、できればここは写真を詰めるなり、この絵柄の意図があるのであれば、明確に表示するなどを行った方が良くと思う。 何気なくカットを使うということはやめた方が今後のためになるかと思う。
事務局	写真についてはいろいろ意見をいただき感謝申し上げます。何が良いのかも一度こちらでも検討したい。 ２２ページの事業についてはそれに見合った写真があるかどうかも含めて再度検討させていただきたい。

和田委員	無ければ何かメッセージ性のあるものを入れるのであれば、「行ってみよう」や「市内を巡って気づいてみよう」などメッセージが伝わる明確な何かを入れてもらえればと思う。
事務局	そこも含めて検討させていただきたい。
新保委員	配付資料の中に、本日不在の金森委員のコメントがあるが、これについて事務局から何か補足説明などあればお願いしたい。
事務局	金森委員からは、現状の素案内容について、「前回の審議会等での意見が反映されているが、体裁や、見栄えについては修正した方がよいのではないか」という意見を承っており、今、示しているコメントを頂戴している。 事務局として、時間に限りがあるが、本日皆様から頂いた意見も含めて、再度、御対応可能な点は御対応したい。 こちらの課題の1つではあるが、今回の素案策定にあたっては専門業者への委託は行っておらず、レイアウトなどを含め全て職員が行っていることから、専門ソフトや技術が無いため実現が困難な点があるなど、テクニカルな要素での限界があることは事実である。 頂いている意見については、写真に注釈を入れるなど、より計画が分かりやすく良いものとしていくために、次回の答申までに反映できるところは可能な限り対応していきたい。
佐藤委員	写真について、いつどこでとったかなどが明記されていないので、インパクトというか意味のある写真とするためにも、流山市の環境政策課がメインとなってやっているような流れで作っていくと計画書もストーリーが出て良いのではないかな。 白黒の写真もあって写真探しは難しいかもしれないが、28ページの生物多様性の図について、西深井北西部と市野谷の森の写真があるが、できるなら①～⑫までのそれぞれの場所で象徴となるような写真を、別途地図の写真と写真のページを設けた上で、写真は①から⑫まで少し大きめにA4サイズ1枚で示す方が写真でも地図でもわかって良いのではないかな。 色々な事情もあると思うが、自分が気付いた点は以上である。
事務局	28ページの写真の件について、写真があるかどうかも含めて検討させていただく。
川村委員	写真については皆がおっしゃっていた通りかと思う。基本目標5について、「オール流山で環境保全と改善に取り組むまち」のところで、ごみに対する意識付けについて、環境施策ですごく大事かと思う。事業者への啓発や市民への啓発の部分というのが、今回の環境基本計画に対して薄いかなと感じた。しかし何をしたら良いかはわからない。ごみの問題は今、流山市でも大きくなってきているところなので、環境政策課がどのように取り組まれていくかを聞きたかった。

事務局	啓発については、もう少し何か言葉を加えさせていただければと思う。検討させていただきたい。ごみ問題の取り組みについては、クリーンセンターと共同で進めさせていただくのはもちろんだが、環境政策課としては不法投棄対策として事業者に委託をして毎日パトロールに回っていただいたり、市民ボランティアでまちをきれいに志隊というボランティアの認定をさせていただいて、その方のペースに合わせてごみを拾っていただくとか、まちをきれいに志隊の中には事業者団体として登録している人もいる。そういった形でボランティアを進めさせていただければと思う。またごみ拾いの活動を民間の会社がイベントのような形でやっていただいているところもある。そういったところには市の方から後援という形でさせていただいている、チラシを各公共施設に配ったりもしている。近々また実施したいという声も聴いている。その時にはまた啓発を行っていきたいと思っている。
川村委員	ごみ問題にかかわるといえるのか、市民の方やNPOの方などはイベント等でアクションを起こしているというのは感じる。他のイベントでもそうだが、やりたいとなった時に、どこにアクセスして良いのかわからないという状況が生まれている。環境系のイベントで、どこへアクセスしたら良いかというのは把握しているかはわからない。
事務局	市で取り組んでいないイベントについては、ホームページではわからないと思う。後援をしているものでも市のホームページには掲載していないものもあるかと思う。多いのはXとかインスタグラムなどで募集をしている方が多いようなので、若い方はそちらで検索しているのではないかと推測する。
川村委員	環境について啓発をしていくように若い方向けに、Xとかインスタグラムで訴求していくという考えはあるか。
事務局	市で持っている計画等を策定したときは、Xや他のSNSを活用して情報共有、連携できればと思っている。
新保会長	(質問が概ね出尽くした段階で) 他に質問等はあるか。 無いようであれば、「環境基本計画について」の審議は以上とし、本日の議事は終了とする。 では、事務局にお返しする。
事務局	本日も貴重な御意見を賜り、感謝申し上げます。 事務連絡として次の審議会の日程ですが、詳細は別途決定次第、事務局から案内させていただく。 以上で、令和6年度「第2回流山市環境審議会」を終了する。